



「身体の成長と心の発達」

先日、娘の1歳半健診に行ってきたのですが、同じ月齢の子どもが集まる場はあまり経験が無かったので、娘は興味深く周りの子どもの動きを観察していました。時間帯が決められていたので、その場所に集まっていたのは10名くらいでしたが、体の大きさも子どもの動きも様々で、同じ月齢でもこんなに差があるのだと感じながら健診を受けてきました。

皆さまは「子どもの成長」と聞くとどの様な想像をされるでしょうか？
一般的には「大きくなる」「高くなる」「伸びる」「ステップアップ」など、グラフや階段の様に縦軸を上がっていくイメージを持つと思います。私も以前はその様な成長のイメージで考えていました。しかし、最近は職員に対してや保護者面談でも話をするのですが、成長を横軸で考える様にしています。物に例えると「地図」になります。現在地（今の自分）から目的地（なりたい自分・成長をしたい姿・老いた先）に向かう平面のイメージです。もちろん、目的地にたどり着くまでの道のりが平坦とは限りません。道も様々な選択肢があります。歩いても良いし、車に乗っても良いし、飛行機で行くのも良いでしょう。一人で行く事もあれば、誰かと一緒に行くかもしれません。その人によって、現在地も目的地も様々ですし、目的地にたどり着く為に必要な物や力もそれぞれ違います。

私たちの仕事は「ナビ」と「伴走者」です。
ナビは俯瞰で見る役目、伴走者は困った時に手を差し伸べられる様に。
どちらの役割もとても大事な仕事です。

児童通所課 嵯峨憲司

【就労継続支援B型事業所開設のお知らせ】

令和4年4月に就労継続支援B型事業所「Design Base（デザインベース）」を狭山市狭山台に開設致します。

DesignBaseでは、地域貢献・社会貢献・SDGsをコンセプトに、廃材を利用した木工製品の制作や、介護用品・ケア用品の製造を中心に、地域の中で必要とされる物を創り出していく事業所を目指しています。

開設のご案内チラシを同封致しますので、ご興味がある方がいらっしゃれば是非ともお問い合わせ下さい。

問い合わせ先：080-3722-4294（嵯峨）



キッズサポートにじいろ 活動報告

にじいろ狭山活動紹介



12月18日(土)にクリスマス会「サイバーホイールイルミネーションエレクトリカルパレード風」を行いました。いつもの活動がいつもとはひと味違う活動になり、目を輝かせて参加する子ども達です。MJ所沢が作ってくれたプレゼントをくじ引きボックスから引き当て、MJ狭山から歌詞カードのプレゼントをもらいました。12月20日からの一週間はクリスマス週間で職員の出し物「にじ」の大型絵本&手話&ピアノ演奏を見ながらノリノリで一緒に歌って踊って楽しみました。



12/25(土)に、クリスマス会を行ないました。土曜日プログラム(日高特支の子ども達向けの身体を動かす活動日)のメンバーを中心に子ども達が集まり、ビンゴゲームやUNO、職員の出し物も披露しました。出し物の一つ、岸田所長のサクソと中出看護師のピアノ演奏では、デジタルとは違う生の雰囲気、子ども達も身体を揺らして反応していました。

にじいろ入間活動紹介



教材紹介

～教材名～ リンリンかご



- ・触ると音が鳴ることに気づく
- ・自分で意図して道具を操作する楽しさを知る
- ・触れると音が鳴ることを期待して繰り返し遊ぶ
- ・触れ方、力の加減によって変わる音の変化に気づく
- ・自分の意志の発信の手段とする
- ・職員や友達と音でのやり取りを楽しむ

など子どもに合わせてさまざまなねらいを設定して取り組むことが出来る教材です。

※手を触って手でたたきよと声を掛けるなどして手を使うことを事前に意識してもらい取り組みます